



平成23年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年9月13日

上場会社名 田崎真珠株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7968 URL <http://www.tasaki.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役・代表執行役社長 (氏名) 田島 寿一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役・専務執行役 (氏名) 飯田 隆也 (TEL) 078-302-3321
 四半期報告書提出予定日 平成23年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年10月期第3四半期の連結業績 (平成22年11月1日～平成23年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年10月期第3四半期	11,326	△6.4	△693	—	△867	—	△902	—
22年10月期第3四半期	12,103	△15.0	△1,450	—	△1,739	—	△1,647	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年10月期第3四半期	△5.13	—
22年10月期第3四半期	△9.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
23年10月期第3四半期	19,779	12,565	63.5	71.40
22年10月期	21,583	13,601	62.5	76.60

(参考) 自己資本 23年10月期第3四半期 12,565百万円 22年10月期 13,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年10月期	—	0.00	—	—	—
23年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正の有無 : 無

3. 平成23年10月期の連結業績予想 (平成22年11月1日～平成23年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	14,600	△4.2	△1,500	—	△1,700	—	△1,900	—	△10.80	

(注) 当四半期における業績予想の修正の有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 — 社（社名 ）、除外 — 社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
② ①以外の変更 : 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年10月期3Q	37,805,664株	22年10月期	37,805,664株
23年10月期3Q	1,818,296株	22年10月期	1,814,049株
23年10月期3Q	35,988,989株	22年10月期3Q	35,994,221株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国の需要拡大及び政府による経済対策の効果等により景気回復の兆しは見られましたが、平成23年3月に発生した東日本大震災が経済に膨大な影響を与え、また、円高傾向も引き続き、厳しい状況のまま推移いたしました。

宝飾業界におきましては、景気の先行き不透明感による消費の低迷、及び、業界内の競争激化等により、環境は厳しい状況下にありました。

このような状況のもと、当社グループは新C I 導入をはじめとする新ブランド戦略を引き続き推進しており、当第3四半期連結累計期間には、東京都千代田区に紀尾井町店、東京都立川市に立川高島屋店、京都市に京都高島屋店、福岡市に博多阪急店をオープンし、販売拡大を進めております。また、営業社員に対する販売スキル研修による接客能力のさらなる向上に注力しております。一方、映画「阪急電車」への協賛や銀座本店でのイベント開催等によりブランド認知力の向上に努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は113億26百万円（前年同四半期比6.4%減）、営業損益は6億93百万円の損失（前年同四半期は14億50百万円の損失）、経常損益は営業外費用に財務制限条項の変更等に係る手数料等を借入手数料として77百万円計上したこと等により8億67百万円の損失（前年同四半期は17億39百万円の損失）となりました。

また、四半期純損益は特別利益に新株予約権戻入益1億20百万円、特別損失に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額88百万円を計上したこと等により、9億2百万円の損失（前年同四半期は16億47百万円の損失）となりました。

セグメントの概況は、以下のとおりであります。

小売事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は80億46百万円、セグメント損失は11億10百万円となりました。

卸売事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は32億80百万円、セグメント利益は4億5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債、純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ18億4百万円減少し197億79百万円となりました。これは、主に流動資産においては現金及び預金の減少4億58百万円、固定資産においては長期預金の減少5億円によるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ7億67百万円減少し72億14百万円となりました。これは、主に有利子負債の減少4億44百万円、及び、未払金の減少5億45百万円によるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ10億36百万円減少し125億65百万円となりました。これは、主に新株予約権の減少1億20百万円、及び、当第3四半期連結累計期間の純損失計上による利益剰余金の減少9億2百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から3億83百万円減少し、31億68百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、2億66百万円の減少となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失8億29百万円、減価償却費4億41百万円、新株予約権戻入益1億20百万円等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、3億43百万円の増加となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入5億98百万円、有形固定資産の取得による支出4億68百万円、敷金及び保証金の回収による収入2億81百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、4億45百万円の減少となりました。

これは、長期借入による収入20億円、長期借入金の返済による支出24億44百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、平成22年12月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、同資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は9百万円、経常利益は9百万円、税金等調整前四半期純利益は97百万円減少しております。また、当会計基準の適用開始による資産除去債務の変動額は1億53百万円であります。

② 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「敷金及び保証金の回収による収入」は重要性が増加したため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしております。なお、前第3四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「敷金及び保証金の回収による収入」は22,264千円であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,183,947	3,642,218
受取手形及び売掛金	678,924	748,060
商品及び製品	7,919,323	7,775,585
仕掛品	402,557	444,622
原材料	1,170,689	1,332,040
繰延税金資産	2,269	—
その他	953,571	1,393,260
貸倒引当金	△12,788	△12,201
流動資産合計	14,298,495	15,323,586
固定資産		
有形固定資産	3,532,373	3,565,580
無形固定資産	135,097	122,482
投資その他の資産	1,813,226	2,571,906
固定資産合計	5,480,697	6,259,969
資産合計	19,779,192	21,583,556
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	637,243	556,227
1年内返済予定の長期借入金	215,574	529,974
未払法人税等	89,387	62,858
賞与引当金	3,973	96,957
資産除去債務	6,917	—
その他	619,547	1,210,923
流動負債合計	1,572,643	2,456,941
固定負債		
長期借入金	2,254,508	2,384,882
繰延税金負債	71,289	41,755
再評価に係る繰延税金負債	77,968	78,873
退職給付引当金	3,016,665	2,950,625
資産除去債務	165,598	—
その他	55,403	68,697
固定負債合計	5,641,433	5,524,835
負債合計	7,214,076	7,981,777

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,500,000	7,500,000
資本剰余金	8,809,343	8,809,343
利益剰余金	△2,666,381	△1,765,344
自己株式	△792,243	△791,935
株主資本合計	12,850,718	13,752,062
評価・換算差額等		
土地再評価差額金	103,714	105,039
為替換算調整勘定	△389,317	△375,713
評価・換算差額等合計	△285,602	△270,674
新株予約権	—	120,391
純資産合計	12,565,115	13,601,779
負債純資産合計	19,779,192	21,583,556

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年7月31日)
売上高	12,103,460	11,326,883
売上原価	5,826,952	4,974,399
売上総利益	6,276,507	6,352,483
販売費及び一般管理費	7,727,007	7,045,576
営業損失(△)	△1,450,499	△693,093
営業外収益		
受取利息	9,188	4,696
保険配当金	7,900	4,386
スクラップ売却益	7,938	—
為替差益	—	3,717
工事負担金等受入額	—	13,294
雑収入	26,651	21,895
営業外収益合計	51,679	47,989
営業外費用		
支払利息	156,448	99,795
借入手数料	—	77,336
為替差損	112,846	—
雑損失	71,868	45,108
営業外費用合計	341,163	222,240
経常損失(△)	△1,739,984	△867,345
特別利益		
固定資産売却益	35,414	8,140
貸倒引当金戻入額	5,376	3,379
新株予約権戻入益	—	120,391
未払金戻入益	75,324	—
特別利益合計	116,115	131,911
特別損失		
固定資産除売却損	2,174	5,790
減損損失	25,830	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	88,223
その他	150	536
特別損失合計	28,154	94,551
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,652,023	△829,984
法人税、住民税及び事業税	46,917	46,077
法人税等還付税額	△24,291	—
法人税等調整額	△27,608	26,299
法人税等合計	△4,982	72,377
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△902,361
四半期純損失(△)	△1,647,041	△902,361

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)
売上高	3,790,848	3,794,782
売上原価	1,986,761	1,782,227
売上総利益	1,804,087	2,012,555
販売費及び一般管理費	2,391,126	2,243,016
営業損失(△)	△587,039	△230,460
営業外収益		
受取利息	4,170	1,677
工事負担金等受入額	—	4,431
雑収入	8,671	6,249
営業外収益合計	12,842	12,358
営業外費用		
支払利息	49,966	36,604
借入手数料	—	15,000
為替差損	96,387	28,860
雑損失	7,342	6,085
営業外費用合計	153,695	86,549
経常損失(△)	△727,892	△304,652
特別利益		
固定資産売却益	2,768	3,820
貸倒引当金戻入額	16,587	—
未払金戻入益	12,177	—
特別利益合計	31,533	3,820
特別損失		
固定資産除売却損	1,109	2,709
減損損失	6,416	—
その他	—	394
特別損失合計	7,526	3,103
税金等調整前四半期純損失(△)	△703,885	△303,935
法人税、住民税及び事業税	9,997	16,671
法人税等還付税額	△1,927	—
法人税等調整額	△16,460	△6,784
法人税等合計	△8,390	9,887
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△313,822
四半期純損失(△)	△695,494	△313,822

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,652,023	△829,984
減価償却費	296,813	441,800
減損損失	25,830	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13,376	△15,173
賞与引当金の増減額(△は減少)	△52,708	△92,984
退職給付引当金の増減額(△は減少)	110,189	66,039
受取利息及び受取配当金	△9,262	△4,720
支払利息	156,448	99,795
為替差損益(△は益)	25,173	2,879
固定資産除売却損益(△は益)	△33,240	△2,350
株式報酬費用	190,154	—
売上債権の増減額(△は増加)	941,111	79,795
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,029,108	59,170
仕入債務の増減額(△は減少)	△53,670	87,992
新株予約権戻入益	—	△120,391
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	88,223
その他	△187,387	98,601
小計	773,159	△41,305
利息及び配当金の受取額	8,252	4,785
利息の支払額	△211,075	△159,891
法人税等の還付額	24,291	—
法人税等の支払額	△115,574	△70,217
営業活動によるキャッシュ・フロー	479,054	△266,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△49,921	△23,152
定期預金の払戻による収入	47,803	598,047
有形固定資産の取得による支出	△1,465,146	△468,405
有形固定資産の売却による収入	191,195	21,678
敷金及び保証金の回収による収入	—	281,406
その他	△27,104	△65,656
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,303,174	343,917
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△458,250	△2,444,774
その他	△404	△307
財務活動によるキャッシュ・フロー	△458,654	△445,081
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36,047	△15,982
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,318,821	△383,774
現金及び現金同等物の期首残高	5,594,792	3,552,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,275,971	3,168,340

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)

	小売事業 (千円)	卸売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,517,542	5,585,918	12,103,460	—	12,103,460
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	111,212	111,212	(111,212)	—
計	6,517,542	5,697,130	12,214,672	(111,212)	12,103,460
営業利益又は 営業損失(△)	196,997	△888	196,109	(1,646,609)	△1,450,499

(注) 1 事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

2 事業区分の主な内容

- (1) 小売事業……………店舗販売・展示会販売・外商販売等
(2) 卸売事業……………国内卸売・海外卸売・ルート販売等

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	その他の 地域(千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	10,995,315	1,108,144	—	12,103,460	—	12,103,460
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	285,067	464,839	—	749,906	(749,906)	—
計	11,280,382	1,572,984	—	12,853,366	(749,906)	12,103,460
営業利益又は 営業損失(△)	110,110	17,949	△2,034	126,026	(1,576,526)	△1,450,499

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………香港・中国・台湾・韓国・ミャンマー
(2) その他の地域……………米国・ベルギー

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)

	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	1,506,091	1,505,434	3,011,525
II 連結売上高(千円)			12,103,460
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	12.44	12.44	24.88

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっており、米国・アジア等に区分しておりますが、当第3四半期連結累計期間はヨーロッパの海外売上高の連結売上高に占める割合が、10%以上となったため「ヨーロッパ」として区分表示しております。その他の地域の各区分毎の売上高の割合は、いずれも10%未満であります。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) ヨーロッパ……………ベルギー
(2) その他の地域……………香港・中国・台湾・韓国・ミャンマー・米国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象として「小売事業」と「卸売事業」の2つを報告セグメントとしております。

各事業の内容は下記のとおりであります。

- (1) 小売事業・・・店舗販売・展示会販売・外商販売等
- (2) 卸売事業・・・国内卸売・海外卸売等

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年11月1日 至 平成23年7月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,046,633	3,280,249	11,326,883	—	11,326,883
セグメント間の内部売上高 又は振替高	162,325	203,634	365,959	(365,959)	—
計	8,208,959	3,483,883	11,692,842	(365,959)	11,326,883
セグメント利益又は損失(△)	△1,110,609	405,473	△705,135	12,042	△693,093

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額12,042千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。